

- 問1 中国地方の島根県において、その地理的条件を活かした産業の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 山間部での畜産業が県内最大の産業であり、沿岸部には海外からの原料を輸入するためのアルミニウム精錬所が並んでいる。
  2. 広大な平野部で大規模な機械化による稲作が行われ、沿岸部には大規模な石油化学コンビナートが形成されている。
  3. 内陸部の盆地を中心にさくらんぼなどの果樹栽培が盛んで、沿岸部のリアス海岸では真珠の養殖が行われている。
  4. 沿岸部では漁港の周辺で水産加工業が発達しており、砂丘地ではぶどうやなしなどの果樹栽培が行われている。
- 問2 香川県の讃岐平野において、地形図上に数多く点在していることが確認できる、農業用水を確保するために人工的に作られた池の名称を答えなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 調整池
  2. ため池
  3. ダム
  4. 用水路
- 問3 日本の主な工業地域・地帯における製品出荷額の内訳を示した統計において、機械類の割合が約3割にとどまる一方で、化学工業が約2割、金属工業が1割強を占め、他の工業地域に比べて化学や金属などの基礎素材産業の割合が高い特徴を持つ工業地域はどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯
  2. 瀬戸内工業地域
  3. 阪神工業地帯
  4. 北九州工業地域
- 問4 四国地方を構成する4つの県のうち、太平洋側に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した農業などが盛んな高知県の県庁所在地はどこですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 高知市
  2. 松山市
  3. 高松市
  4. 徳島市
- 問5 瀬戸内地方において、一年を通じて降水量が少なく、温暖な気候になる理由として、地形の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. 広大な平野が広がっているため、上昇気流が発生しにくく、雲が発達する要因が乏しいため。
  2. 日本アルプスのような高い山脈が冷たい北風を完全に遮断し、南からの暖流の影響のみを受けるため。
  3. 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、湿った季節風がこれらの山地で遮られるため。
  4. 周囲に高い山地が全く存在せず、乾燥した大陸の空気が直接流れ込み続けるため。
- 問6 香川県高松市の南部など、瀬戸内地方の地域に見られる「ため池」の役割と、その背景となる自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 黒潮の影響で年間を通じて温暖湿潤な気候であるため、二毛作を行うための大量の灌漑用水が必要である。
  2. 広大な平野が広がり河川の勾配が緩やかなため、湿地帯を乾燥させて宅地化するために水を抜く必要がある。
  3. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、春先の融雪洪水から耕地を守るために一時的に水を貯める必要がある。
  4. 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。
- 問7 岡山県やくらしき市、山口県周南市などの瀬戸内海沿岸部には、多くの石油化学コンビナートが立地しています。これらの工場群が、内陸部ではなくあえて臨海部に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 周辺の山地で採掘される石炭や鉄鉱石を、短い距離で工場へ運び込むことができるから
  2. 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから
  3. 主要な消費地である東京や大阪などの大都市に隣接しており、高速道路網による陸上輸送に有利だから
  4. 製品の冷却に大量の淡水が必要なため、大きな河川の河口付近に工場を建てる必要があるから
- 問8 香川県などの瀬戸内地方の地形図を確認すると、平野部に「〇〇池」と記された小さな水域が数多く点在していることがわかります。これらの施設がこの地域に多く作られた理由として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 台風による大雨が多いため、河川の氾濫を防ぐ貯水池とするため
  2. 瀬戸内工業地域において、大量に必要な工業用水を確保するため
  3. 急峻な地形を利用して、小規模な水力発電を行うため
  4. 年間降水量が少なく、稲作に用いる水を確保するため
- 問9 中国地方の日本海側に位置する2つの県のうち、統計データにおいてみかんや肉用牛の生産割合が比較的低く、かき類などの水産物の生産が一定の割合を占める特徴を持つ県はどこですか。（2019年 北海道公立入試 類似）
1. 鳥取県
  2. 山口県
  3. 島根県
  4. 広島県
- 問10 愛媛県の農業産出額において、果実の占める割合が他の都道府県と比較して非常に高い水準にある理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 日当たりの良い傾斜地が多く、かんきつ類の栽培に適しているため
  2. 大規模な平野を活用し、機械化された果樹園が広がっているため
  3. 冷涼な気候を活かし、リンゴやサクランボの生産に特化しているため
  4. 都市近郊に位置し、鮮度が重視される高級果実を生産しているため
- 問11 高知県では、冬でも暖かい気候を利用してビニールハウスなどで野菜を育て、全国的に出荷量が少ない冬から春にかけて出荷する農業が盛んです。なすの出荷時期に関する統計において、全国平均では7月や8月にピークを迎えるのに対し、高知県では3月から5月にかけて出荷のピークがあります。このような、自然条件を活かして出荷時期を早める農業形態を何といいますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 二毛作
  2. 近郊農業
  3. 促成栽培
  4. 抑制栽培
- 問12 高知県の人口構成における特徴と、その背景にある社会的な動きについて述べたものとして最も適切な説明はどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 若年層の流入が多いため、人口ピラミッドは底が広がる「富士山型」の形状を保っている。
  2. 少子化のスピードが緩やかであるため、若年層と老年人口の割合がほぼ均衡している。
  3. 愛知県や大阪府などの都市部と比較して、老年人口の割合が高く、深刻な高齢化の状況にある。
  4. 第2次産業が極めて盛んであるため、15歳から64歳までの生産年齢人口が全国平均を大きく上回っている。
- 問13 高知県における、なすなどの野菜の生産の特色を説明した文として最も適切なものを、統計資料から得られる「2月から5月に東京都中央卸売市場への入荷が集中している」という事実に基づき選択しなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 広大な土地をいかし、大型機械を用いて少ない労働力で大量の作物を生産する工夫をしている。
  2. 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。
  3. 高冷地の涼しい気候をいかし、夏から秋にかけての出荷時期を遅らせる工夫をしている。
  4. 大消費地に近い立地をいかし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を毎日出荷する工夫をしている。